

# 市長と“おしゃべり” しませんか



市民の皆さんと市長がより親しみをもって対話できる場「市長と“おしゃべり”しませんか」が、12月13日に札幌国際プラザの交流サロンで行われました。当日は外国籍の市民や留学生、ボランティア団体の方などが参加し、どのように札幌のまちづくりに関わっていただけるかなどについて話し合いました。 [詳細](#) 市民の声を聞く課 ☎211-2042



みんなのでつくる「多文化共生都市」さっぽろ!



留学生が  
発言できる場として、  
例えば留学生・  
外国人が運営する  
ラジオ局があれば  
いいと思います。

●北海学園大学  
留学生会代表  
奇 英花さん

**市長から** ミニFMなら十分可能性があるのではないのでしょうか。今、地域の中でも自分たちがどういった活動を行っているのかを、知らせる場所がほしいという意見が出ています。ミニFMはそういった場として、これから重要な役割を果たすのではないかと思います。



外国人にかかわる  
問題を担当する、  
オンブズマンの  
ような制度があれば  
いいと思います。

●うえるかむはうす代表  
ジェームス・マイレットさん

**市長から** 外国の方の悩みについて、いろいろ相談できるシステムは大切ですね。この国際プラザも協力してもらえる場所の1つですよ。また人権にかかわる問題などは、弁護士会で相談を受け付けています。そういった活動を、これからは皆さんにお知らせしていかなければならないですね。



グリーン  
コンベンションという、  
環境に配慮した  
※コンベンションを  
札幌の街から発信  
できないでしょうか。

●NPO法人コンベンション  
札幌ネットワーク代表  
藤田 靖さん

**市長から** 札幌の特徴を生かしたグリーンコンベンションという考え方は、とても参考になりますね。環境には木を植えたり、ごみを減らす努力をしたりと、いろんなアプローチの仕方があります。※コンベンションを通じて「環境保全に努力する街・札幌」というまちづくりが進むことにもつながると思います。



小中学校で、  
留学生が自国の文化を  
紹介して異文化交流  
できる時間をつくり、子供  
たちに本物の国際感覚を  
身に付けてほしいと  
思います。

●外国語ボランティア  
ながさわ ひろよ  
長澤 浩代さん

**市長から** 現在、学校教育の中で留学生の力を生かせるような取り組みを来年から行えないか議論中です。また学校以外でも、市内103カ所にある児童会館で子供たちと留学生が異文化交流などの活動をできるよう、具体的に検討しているところです。